



玉幡小学校 学校だより 第24号

チーム玉幡

平成31年 3月25日(月)

校長 望月 和彦

54名の巣立ち！卒業式

54人の卒業を祝福するかのよう青空が広がった3月20日(水)。甲斐市総務部長の三井敏夫様をはじめ、教育委員会、市議会議員、学校評議員、民生児童委員、PTA役員などご来賓の方々や、卒業生のお父さん、お母さんやご家族、そして在校生代表の4年生と5年生の参加のもと「平成30年度卒業証書授与式」(卒業式)を行いました。

卒業式は、6年生に小学校の教育課程をすべて修了した証である卒業証書を手渡す大切な学校行事であるとともに、6年間の成長の成果を発揮する最後の授業でもあります。この日のために、6年生はたくさんの



時間をかけて取り組んできました。心構えからはじまり、どんなことを伝え、どんな曲を歌いたいかを考えたり、実際の式の中での動きを練習したり、合唱や呼びかけの練習をしたり、そして、卒業制作に取り組んだり。そんな中で卒業に向けての気持ちをつくってきました。また、在校生代表として参加する4年生と5年生もどんな姿勢で卒業式に臨むのかを考え、感謝と祝福の気持ちを伝える呼びかけや合唱の練習を繰り返し行い、前日には5年生が会場の清掃や会場づくりに活躍してくれました。



そして、迎えた本番当日。堂々とした入場、ひな壇に座る凛々しい姿、担任の呼名に対して「はい」の返事、卒業証書を受け取ったときの「ありがとうございます」という言葉と輝いた目、とても立派な姿でした。そして、後半の部分で、6年間のたくさんの思い出と感謝の気持ち、そしてこれからの生活への決意を、ことばと合唱にして表現してくれました。一人ひとりの素直な気持ちが込められた発表であり、54名が玉幡小で大きく成長できたことを証明する発表でした。4・5年生も、「6年生にとって心に残る卒業式にしてあげたい」という気持ちがこもった呼びかけや合唱をしてくれました。私は、卒業生と在校生双方の姿に感動し、玉小の児童の素晴らしさを改めて感じ

ました。式中には、ご来賓の方々から心温まる励ましの言葉をいただき、保護者やお家の方からは温かいまなざしが注がれていました。1時間45分の内容でしたが、厳粛な中にもたくさんの感動とたくさんの温かさを感じることができた卒業式でした。

式辞のなかで、私は彫刻家の佐藤忠良さんの次のような言葉を引用しました。「対象に立ち向かったら、いろんなことを思い切ってやってみる事です。私たちはいずれ失敗するに決まっているようなものですが、その失敗の上に脚を構え、また挑もうとすることです。そういうことの繰り返し、いつの間にか自分の中に蓄積となって深くなっていけるのだらうと思います。失敗したらそれは、前へ進んでいるのだと思い、怖れずにまたやることです。」失敗は成功するための土台であり、自分を成長させるきっかけにもなります。子どもたちの心や体にはまだまだ無限の可能性が秘められています。その可能性を可能性で終わらせずに、失敗の繰り返しの中から自分の力へと成長させていってくれることを期待して止みません。卒業おめでとう。



本日で平成30年度玉小教育は修了！

平成30年度は、一年間で学校に登校した日（授業日）は、1・2・3年生と6年生は202日、4・5年生は203日でした。（日数の違いは、修学旅行と卒業式の関係）この一年間、雨のため運動会を延期したこと以外は、暴風雨や大雪またはインフルエンザ等の感染症流行による臨時休業も行わず、計画通りに教育活動を実施することができました。この1年間、欠席も、遅刻も、早退もなかった児童は全校で79人いました。（出席停止、忌引きを除く）一年間健康に気を配り、元気よく登校できたことは大変立派なことだと思います。（具合が悪いのに無理して登校してはダメですが。）来年度も学校と家庭が協力しながら、児童の健康管理に注意して、すべての児童が健康で元気に生活できるよう取り組んでいきたいと思っています。

さて、本日、平成30年度の修了式を行いました。修了式では、私から学年代表の児童に「修了証書」（本校では「学校生活のようす」の最後のページにあります）を渡し、その後、代表児童が「一年間を振り返って」の発表をしてくれました。「修了証書」には「小学校第〇学年の課程を修了したことを証します」と書いてあります。つまり、「小学校〇年生で学ぶべきことをすべて学び、進級できます。」ということです。修了証書をすべての児童に渡しましたから、全員が進級できることとなります。

お子様が進級するにあたり、保護者の皆さまにお願いがあります。それは「学校生活のようす」に書かれていることをじっくり読んでいただきたいということです。私も全校児童の「学校生活のようす」をすべて読ませてもらいました。学級担任が、一人ひとりの学習や生活のようすを丁寧に見とり、「◎○△」で評価しています。「◎」がついているところは、がんばっているところや良さであり、大いに褒めてあげてください。「△」がついているところは、努力して欲しい部分や身につけていない部分なので、改善できるように保護者としてのアドバイスや励ましをお願いします。「学校から」の部分には、学級担任が児童一人ひとりへの期待と願いを記載しています。是非、書かれている内容について、お子様と話をしてみてください。その中で4月からの目標や決意が立てられると良いと思います。また、「健康の記録」については、身体測定や健康診断の記録などを上野養護教諭がまとめてくれています。健康状態を把握していただき、心配な場合は、医療機関等への相談・受診をお願いします。

なお、「学校生活のようす」の記載内容について、疑問な点や相談したいことがありましたら、遠慮なさらず学級担任に連絡してください。学校と保護者が一緒の方向を向いて、子どもたちを指導・支援することが健やかな成長のカギになります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

玉幡中からの強力なサポート

中学生陸上部による陸上指導、中学校の先生による英語と理科の出前授業など、本校は玉幡中学校から様々なサポートをしていただけてきました。今回は玉幡中の音楽の先生であり、合唱指導の専門家である石原孝一先生が、卒業式に向けて6年生の合唱を2日間指導してくださいました。子どもたちの良さを褒めながら、わかりやすくポイントを指摘してくれる指導によって、歌声は数段レベルアップすることができました。石原先生からは、「ほんとに良い子たちですね。とても楽しかったです。入学を楽しみにしています。」とのお言葉をいただきました。



3/14 玉幡中石原先生による熱血指導

玉幡児童館との連携

玉幡児童館（さわやか教室）の利用者の増加により、児童館の施設だけでは手狭になったため、平成29年度から本校校舎のワークルームを「玉幡さわやか第3教室」として活用しています。第3教室は、3年生以上の児童が5時まで利用し、5時以降は児童館に移動しています。児童館の先生2名が子どもたちを指導してくれています。時々私が様子を見に行くと、勉強したり、ゲームをしたりして楽しく活動しています。大人数なので児童館のルールを守り、児童館の先生の指導をしっかり聞くよう学校でも話しています。



3/12 さわやか第3教室利用の最終日